

県内の全市町村が景観行政団体へ移行したことに伴い、広域的観点から景観行政を担う県が、「大分県広域景観保全・形成指針」を策定し、広域景観の保全・形成に向けた取組を促進。

## 🔍 基礎情報

自治体名	大分県		
規模	人口：108.4万人 面積：6340.7 km <sup>2</sup>		
	(県内全市町村が景観行政団体)		
景観の取組状況	重点地区	景観重要建築物	景観重要樹木
	景観重要公共施設	景観協定	景観整備機構
	景観協議会	景観地区等	屋外広告物条例

## 取組の概要

### 指針を定め、「広域景観エリア」を設定

県全土の総合的な指針となる「大分県広域景観保全・形成指針」を定め、複数の市町村にまたがる「広域景観エリア」として特性の異なる2タイプの広域景観について全12エリアを設定。

### 関係市町村が広域景観の価値を共有する場である「広域景観協議会」の立ち上げを支援

景観行政団体である市町村と、広域的観点から景観行政を担う県が連携して取り組む場である「広域景観協議会」の立ち上げを支援。

## 【特性の異なる2タイプの広域景観エリアを位置付け】

### 景観の一体的な保全・形成を図る広域景観エリア

- 空間的に一体的もしくは連続的な景観特性をもつ広域景観エリアについては、**広域景観協議会**を設立し、関係市町村の調整等に取り組む。



### 点在する景観の価値の共有を図る広域景観エリア

- 点在しているが、文化的・歴史的背景を共有するなど一体的なイメージがある広域景観については、その価値の共有を促進し、一体的な景観形成に取り組む。



# 【大分県】 エリア単位での広域景観保全・形成の推進

## 取組の背景

### 県内の全市町村が景観行政団体に移行

- ・令和2年3月に県内の全市町村が景観行政団体へ移行し、市町村を中心として良好な景観保全に努めている。

### 広域景観の保全・形成に係る取組が必要

- ・複数の市町村にわたる広域景観の保全・形成については、広域的な観点から景観行政を担う県が、県民や事業者と協働しながら取り組んでいく必要がある。

## 取組の効果

### 広域景観エリアの特性を活かした取組の推進

- ・広域景観協議会を設立したことで、各エリアの景観特性を活かす景観形成の取り組み等を協議・情報共有することができ、景観行政の一層の推進を図れた。

### 大分県の景観の価値向上に寄与

- ・県民・景観活動団体等が参加する広域景観シンポジウムの開催を通じて、県民の広域景観保全・形成に対する意識醸成や共通認識を深めることで、県全体の景観の価値向上が期待される。

### 【広域景観エリアの設定手法】

- ・展望台や海辺の公園等の一般県民に広く認知された視点場を調査場所として選定して現地調査を実施し、関係市町村の範囲を確認。
- ・広域幹線道路及び主要道路等の沿道景観の現地調査を実施し、関係市町村の範囲を確認。
- ・文献調査や、県民を対象としたWEBアンケートを実施。



- ・現地調査の結果及び文献調査やアンケートで抽出した歴史・文化、産業、生活習慣等によるまとまりを整理し、広域景観エリアの検討を行った。

### ■県内の主要な眺望景観



真玉海岸の干潟の縮模様



別府湾サービスエリア展望台からの広域景観